

つわの風

題字：紫香会 小松崎 照江

編集・発行／都和地区市民委員会文化広報部 事務局／土浦市立都和公民館 ☎ 029(832)1667



エンデューロレース



並木の八幡祭



並木の八幡祭



ふれあい寄席

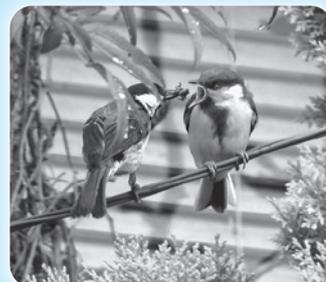
目

- 都和地区市民委員会の活動 P2・3
- まちの話題 P4
- ふれあい寄席・花いっぱい運動コンクール... P5
- チャレンジクラブの活動報告 P6

次

- 土浦のむかし話 P7
- 同好会紹介・社協都和支部・編集後記 P8

都和地区に飛来する野鳥



シジュウカラ (板谷町)

都和地区市民委員会の活動

【市民委員会組織図】

土浦市まちづくり市民会議

都和地区市民委員会

常任委員会

委員長

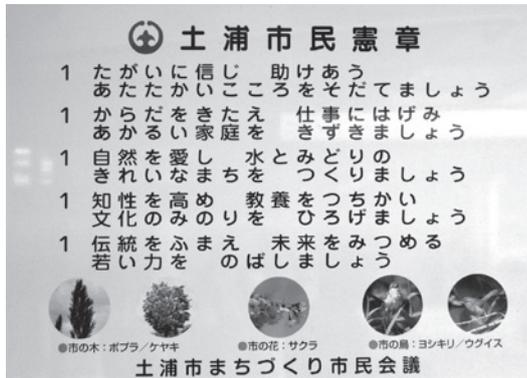
長谷川 昭 (板谷町地区長)

副委員長

宇井 正信 (東並木町地区長)

原 市代 (都和中地区スポーツ協会会長)

萩野谷孝雄 (都和中学校校長)



専門部名	主な事業内容	その他の事業
福祉部	<ul style="list-style-type: none"> 都和地区奉仕作業 公民館まつり「福祉の店」出店 福祉施設への寄贈 福祉関連施設での研修 他の部との交流 小地域お楽しみ会協力 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館まつりへの参加、協力 (12/1~3)
安全部	<ul style="list-style-type: none"> 都和地区奉仕作業 公民館まつり「交通誘導他」 防災関連等の研修を他部と共同実施 救命講習会の開催 都和地区歩く会の協力 	
スポーツ・健康部	<ul style="list-style-type: none"> 都和地区奉仕作業 公民館まつり「模擬店」出店 他部との合同健康教室 都和地区いきいき健康体操参加、協力 都和地区歩く会の協力 	
環境部	<ul style="list-style-type: none"> 都和地区奉仕作業 花壇の整備・管理 土浦市環境展参加 公民館まつり参加「ミニ環境展等」 地域清掃活動 環境学習会 	
文化広報部	<ul style="list-style-type: none"> 都和地区奉仕作業 「つわの風」取材・編集会議 広報紙「つわの風」発行 (年 2 回) ふれあいコンサートの開催 公民館まつり支援 他部との研修会への参加 都和地区行事の記録 	
青少年育成部	<ul style="list-style-type: none"> 都和地区奉仕作業 チャレンジクラブへの協力 青少年健全育成運動 非行防止キャンペーン参加 公民館まつり参加 	

福祉部

部長 木村 光秋

途切れていた地域の催しやお祭りも久しぶりに復活し始めましたが、第9波の始まりでもあり、今夏は油断なく警戒が必要だと思います。

日々異常気象による豪雨、地震等の災害が続いている今、地域の皆様方、ボランティアの皆様方の力が復興への第一歩だと実感しております。

福祉部活動計画は、地域福祉への参加・協力を目標に会員一同で取り組んでいきます。

安全部

部長 櫻井裕之

昨年は、規模は小さくなったものの、奉仕作業・公民館まつり・都和地区歩く会などへの協力、救命講習会の開催などコロナ前の活動に近づく事ができました。

今年度は、以前行ってきた出前講座を行う等、更に活動ができるよう部員方々、公民館の方々と協力して一歩先に踏み出して活動していきますので、よろしくお願います。

スポーツ健康部

部長 竹内 靖揮

昨年度は下半期から公民館まつりや歩く会など、徐々に活動が再開されました。

コロナによる自粛期間も含め、体力低下がいわれている昨今、今年度は活動を再開し、地域のみなさまの健康・体力の維持、増進に努めてまいります。

今年度、奉仕作業や公民館まつり、歩く会等を開催したいと思っております。

みなさまの積極的な参加をお待ちしています。



昨年度の歩く会 (2月)

環境部

部長 木野内 完治

活動の一環として「花いっぱい運動」に参加しているが、今年度は花苗の植え付け後6月の大雨によって、表面土壌が流されるなど、大変苦労しましたが、入賞することができました。

当該箇所は、新治都和交番前歩道橋下の交差点の一角に位置しているため、花壇の維持管理は年間を通して取り組んでいます。

その他の活動として、都和公民館まつりへの協力・地域清掃活動として(特にポイ捨ての多いところのゴミ拾い)・環境学習(出前講座の活用)を予定しています。

文化広報部

部長 清藤 雅宏

コロナも落ち着きを見せ、色々な行事が予定されました。祭りも、並木八幡祭が再開されました。文化広報部主催のふれあい寄席も、人数制限はなく行いました。解説を含めた実演で、身近な寄席の醍醐味を味わっていただき、多数の参加者がありました。

ただ、残念なのは、ラジオ体操中央大会、市民体育祭がこの地区だけ中止になったことです。しかし、公

民館祭りは、盛大に行う予定です。

「つわの風」の内容については、市民委員会活動計画と抱負、花いっぱい運動コンクール、チャレンジクラブの前半分、同好会紹介等を載せました。

また、町の話題として、身近な人が、オフロードバイクレースの日本チャンピオンの話、都和地区のむかし話として、並木亀城稲荷のお姫様のお話を載せました。

何か話題のある方は事務局まで声をお寄せください。面白く読んでいただける内容とするべく、部員一同頑張っております。

青少年育成部

部長 小松崎 猛彦

今年度は6月17日に第1回目の専門部会議を開催し、役員の選出とチャレンジクラブの協力、その他行事について話し合いました。

チャレンジクラブの活動については、各部員とも1回は参加、協力していただけるよう、都合の良い日を選択していただきました。中には、複数回協力頂ける部員もあり、心強く思っています。

子どもまつりについては、時期や参加者が少ないとの意見があり、話し合いにより、廃止することが決まりました。

7月3日(月)には土浦市非行防止キャンペーンがあり、部長・副部長が参加しました。

これからも、チャレンジクラブの支援活動を通して、部員も楽しんで参加できるようにしたいと思います。

奉仕作業を行いました

5月20日(土)市民委員会及びスポーツ協会共催により、都和南小、都和中、都和公民館に分かれて作業を行いました。当日は小雨が降るあいにくの天気でしたが、ご協力いただきありがとうございました。



都和中地区スポーツ推進委員をご紹介します

スポーツ推進委員の任期は2年間で、今年度8名の委員が委嘱されましたので、ご紹介いたします。(スポーツ推進委員は、教育委員会規則により、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整、住民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導や助言を行います。)

※かすみがうらマラソンの協力をはじめ、都和地区のスポーツ関連事業の補助や運営などを行っています。

- 委員長 渡邊喜世志(板谷六)
- 副委員長 原 市代(板谷八)
- 委員 窪田 智(並木二)
- 竹内 靖揮(並木三)
- 藤田 久樹(西並木)
- 北谷 義貴(板谷七)
- 栗山 良一(栗野)
- 富島 進(中貴)



まちの話題

オフロードバイクに 生涯を懸ける 渡辺 学 さん



エンデューロレース優勝写真

今回訪問したのは、土浦市並木五丁目「ボンヨ」の店主で、餃子づくりをしている渡辺学さん（45才）です。実は、この方、オフロードバイクの日本チャンピオンなんです。この地に生まれ、多くの子供が野球やサッカーを始める中、肝っ玉ご両親のおかげで三歳くらいからオフロードバイクを遊具として育てられました。年齢制限のないキッズレースに参戦。1周1.5km以下ですが山あ



バイク用の車庫

クロスカントリイ選手権（年間8回開催）の年間ランキング1位から3位。また、2018年から202

り谷あり、ヘアピンカーブありの「モトクロス」レース（ゴール順位を競う）に挑戦。徐々に上級クラスへ。
・16歳でモトクロス関東B級クラス年間ランキング7位。
・19歳で全日本国際A級クラス年間ランキング125cc 5位
・24歳で同クラス2位に入賞
など35歳まで全国各地で開催されるモトクロスで輝かしい戦績を残されています。
35歳からは、さらに難関の「エンデューロレース」専門に参戦。このレースは、スキー場などを使った山道や林道のオフロード十数キロの周回コース3時間以内で何周できるかを競うもの。「JNCC全日本クロスカントリイ選手権」が大きな大会として毎年開催されています。
これまでの戦績は、2012年から2017年は「JNCC全日本



バイクを乗せる大型車

0年の3カ年間は、年間ランキング1位を連続して独占しています。今年は今まで4戦全てのレースで優勝。残り4戦の優勝を目指し年間ランキング1位の獲得を狙う凄意気込みです。
更に渡辺さんは、「ツイスタレーシングチーム」を立ち上げ、チームの監督として多くの企業に支えられながら若いレーサーの育成に励んでいます。土浦市並木の自宅近くに生活指導ができるように合宿所を設け、沖縄、九州から東京近辺の出身者8名の指導者・監督として頑張っています。ご自身のレーシングの無い時には、寝台のある大型車（週初めにボンヨの前でよく見かける大型車）で近隣のレース場であればバイクを乗せて家族5人で出かけるそうです。チーム参戦者やその家族、また全国の参戦者とのコミュニケーションを大事にされるそうです。同時に、自作の「餃子」も販売し、会話の幅も広がっています。
現在、上の2人のお子様、女子7



モデルを購入し、さらに楽しんで欲しいですね」

「ライダー一人ひとり、一つのレースの中にドラマができあがり、たくさんエピソードが生まれるところも面白い。レースが終わった後、ネタが豊富すぎて、ライダー同士での会話が弾むわけです。だから、まだ躊躇している人がいるならば、手持ちのバイクを引っ張り出して、僕たちの仲間に加わってください。そして少しでも楽しめたなら、強力な最新モデルを購入し、さらに楽しんで欲しいですね」

【渡辺さんの談話】

「エンデューロ、クロスカントリイの魅力は本当にたくさんあります。みんな仕事を持っていて、自分たちで時間やお金をやりくりしながら、できる範囲で楽しめるレース。成績にこだわる人もいれば、自分自身との戦い・チャレンジ、仲間や家族との交流の場であったり、それぞれ自分のスタイルで参戦できる場所も魅力です」

ふれあい寄席
落語家 立川志のぼん



都和公民館恒例の「ふれあいコンサート」で今年も、9月24日に趣向を変えた「ふれあい寄席」を開催することができました。地元土浦一高出身、筑波大落研卒業、立川志の輔の4番目弟子、真打ちに次ぐ二つ目の『落語家立川志のぼん』さんを迎えるの寄席です。約100名の都和地区の方々から地元有名人を熱心に聞き入りました。

演目は、前半「饅頭怖い」、後半「五升酒一試し酒」でした。二つの演目の前後に、落語に係わる知識として落語の歴史、上方落語と江戸落語の違い、歌舞伎の影響、落語を演じる際の扇子と手ぬぐいを使ったしぐさの違いなど大変興味深い話がありました。大いに、会場を沸かせました。



また、公民館に持ち込んだ板谷の太鼓で、寄席で打ち鳴らす太鼓のリズムについての解説をして下さいました。開場と同時に前座さんが太鼓を長バチで、一番太鼓『お客様、大勢入って』と願いを込め、最初に太鼓の縁をカラカラカラと木戸口が開く音。そして、どんどんどんと来い、ドンドンドントコイ、金持ってどんと来い。最後のところで、太鼓の表面を長バチを「八の字」に大入りになるように縁起をかついで太鼓を押さえて終わるんだそうです。二番太鼓は開演直前に、お客様は福の神。その福の神が大勢いらっしゃるようにと、お多福来い来い、お多福来い来い、ステツク天天、ステツク天天、ステツク天天。そして寄席の終りハネ太鼓は、お客様に追い出しとも言います。出てけ、出てけ、出てけと打つなど実演して下さいました。太鼓の打ち方にも庶民の感覚が素直に発揮され、庶民に向けた芸能であることが改めて理解できました。皆さん、満足して帰りました。

茨城県高齢者クラブ連合会
会長顕彰



関山靖夫様(板谷四)地域の高齢者クラブの発展に努力され業績が顕著であったことから、茨城県高齢者クラブ連合会会長顕彰を受賞されました。

花いっぱい運動
コンクール

令和5年度花いっぱい運動コンクールの表彰式が市役所で行われ、地域の部と学校の部において都和地区では7団体が入賞しました。

【地域の部】
土浦市長賞

東並木町健康クラブ
土浦市教育委員会教育長賞

【優良賞】
並木一丁目健康クラブ

【優良賞】
西並木町健康クラブ

【優良賞】
都和地区コミュニティセンター

【学校の部】
土浦市まちづくり市民会議議長賞

【優良賞】
都和小学校

【優良賞】
都和南小学校

まちづくりの実践を
たたえる表彰

【個人の部】
平野忠男様(並木一)防犯・環境美化・奉仕活動を12年間実施

【団体の部】
板谷婦人文化部防犯パトロール班地域の防犯活動を10年間実施

まちづくり市民会議
議長から感謝状

福祉部 田中治江様(西並木)地区市民委員会の専門部長として、5年以上事業の推進に貢献し、退任された方に対して、まちづくり市民会議議長より感謝状が贈呈されました。

防災研修会

令和5年9月10日(日)安全部主催による「防災研修会」を都和公民館で開催しました。市の防災危機管理課の職員から、防災対策や地震・風水害における避難の際の注意点などの講話があり、参加者は熱心に聞き入っていました。



チャレンジマンデーの活動報告

チャレンジクラブとは、各公民館を中心に、さまざまな体験活動を通して、子どもたちの健全育成を図ることを目的とした事業です。青少年育成部員も一緒に活動しています。第1回から第5回までの子どもたちの感想をご紹介します。

○4月22日(土) 第1回 開講式 バルーンフラワー

開講式後、バルーンフラワーの講師2人をお迎えし、風船で花束を作りました

都和南小4年 澤井大地

二重風船を始めて作りました。最初に外側の風船に空気を入れてから、内側の風船に空気を入れるのがむずかしかったです。とても楽しかったのでもう一回やりたいです。



○6月17日(土) 第2回 卓球をおぼえて試合をしよう

公民館で活動している卓球の同好会の皆様に講師に、卓球をしました。

都和南小6年 佐々木 蓮

卓球をやって面白かったです。特に試合をして勝ったことがうれしかったです

都和小4年 富島 紗穂

先生にラケットの持ち方を教えてもらったりしました。試合はよい経験ができてよかったです。

都和小5年 西田 悠華

先生に教えてもらって去年よりはできるようになりました。手を振るはやさなところまで教えてもらいました。去年より卓球がうまくなれてうれしかったです。



○7月9日(日) 第3回 森林体験

那珂市にある県民の森(県植物園)の森林協会の皆様にお世話になりました。

都和南小6年 島田 光優

森林体験に参加して色々なことを

学びました。ネイチャーゲームが楽しかったです。

都和小5年 酒井 明音

今日は、森林体験に参加しました。プランターを自分で作成しました。植物のことを教えてもらいました。みんなでアスレチックをして、楽しかったです。



○8月5日(土) 第4回 カヌー体験

快晴の下、ラクスマリナーの協力により、霞ヶ浦でカヌー体験をしました。

都和南小6年 山本 凜乃

私はカヌーの後ろに座りました。後ろの人は前の人に指示されながら「右にまがって」と言われたら「左にこがなければ」と気持ち焦り、間違っって右にこいだり、方向が逆になりました。こいでるうちに方向も

わかり安定してこげるようになりました。



○9月9日(土) 第5回 大洗水族館へ行こう

前日の台風で県北地域は大変な大雨と被害が発生したので、現地の様子を確認して実施しました。水族館には多くの人が訪れていました。



土浦のむかし話

文化広報部員が、並木にあるお稲荷さん（亀城稲荷神社）を見て、何故ここにお稲荷さんがあるのか？疑問に思い調べていると、「土浦のむかし話」に出会いました。

古くから地域に語り継がれた「ものがたり」を集めた「土浦のむかし話」はこれまでに4集発刊されています。

その中から都和地区にまつわる民話（7話あります）について掲載いたします。

【編集】
土浦市文化財愛護の会 民話研究部会

やきもちやきの お稲荷さん

むかし、むかし、可愛らしいお姫さまが土浦藩にお輿入れなされたそうです。

常陸国のはずれにある土浦をまだ見たことも無く、美しい湖の話や朝夕さまざまに衣を替える筑波山のことなど、楽しく胸も膨らむのですが、お姫さまは心細くてたまりませんでした。

そして幼い頃から守り神として、城内に祭られてあったお稲荷さんも

一緒に、お姫さまと土浦へいらっしやうたそうです。

ところが土浦城にはずっと以前からお稲荷さんが祭られてありましたが、一つのお城の中で二つのお稲荷さんは、互いにやきもちを焼いて仲良くしようとはしません、さあ大変です。

雨が降れば洪水になり、川は氾濫します。秋になって稲が実をいっぴいつけて頭を垂れる頃になると、虫が猛発生して稲を食べてしまいました。

「こんなに悪いことが続くことはなかったのう」

「困ったもんじゃ」

町の人々や村の人々の嘆きをみて、お殿さまは大勢の人達を使って川が氾濫しないように工事もしました。でも次々とよくないことが続き、ほとほと困ってしまいました。

お姫さまはいつものように、今日もお稲荷さんに来て小さな白い手をお祈りしていましたが、このとき付いたのです。二つのお稲荷さんにそれぞれ役目を与えればよいのではないかと……。

そして新しいお稲荷さんは、一里ほど離れた北の台地の新郭屋敷の隅に、新しくお祭りしたお稲荷さんに頼みました。

家臣をお城の上から守ってくださいませ」

そして土浦城のお稲荷さんにも頼みました。

「このお城の中から、お殿さまと同じように人々を見守って下さいませ」

亀城稲荷として祭られることになりました。

それからは土浦の町では初午を、亀城稲荷は二の午を祝うようになりました。

その年からはお城まで水浸しになるほどの洪水は起こらなくなり、稲虫の発生も少なく豊作が続くようになって、町の人も村の人も助かったということでした。



亀城稲荷神社（並木三丁目）

新治都和交番から お知らせ

新治都和交番

警部補（所長）渡邊 仁美

今年度から新治都和交番所長として勤務することになりました。地域住民の方々に温かい言葉をいただくことが多く、親しみやすさを感じています。

さて、土浦警察署管内においては、空き巣や二七電話詐欺等の犯罪が発生しています。

空き巣への防犯対策は、ご自宅の確実な鍵かけに加え、補助錠や防犯カメラ設置等の複数の防犯対策をすることが有効です。

二七電話詐欺等への対策は、自宅の固定電話を留守番電話設定にすることです。詐欺の犯人は、留守電に自分の声を残すことを嫌います。

留守番電話にメッセージを残した人だけと話す、もしくは、メッセージを聞いてから折り返すことを習慣にし、ご自身やご家族の財産を守りましょう。



新治都和交番：渡邊所長
社協都和支部が開催した
小地域お楽しみ会で、犯罪
予防に関するお話をいただきました。

同好会紹介

火曜卓球クラブ

根暗なイメージの卓球が、日本代表選手の活躍で注目されるスポーツになってきました。

平成初期に発足して現在 12 人、初級者も共に練習しております。月末には全員でダブルス大会を行っております。その甲斐あって初級者も上達しております。卓球台は 5 台あり十分な練習ができます。

毎週火曜日の午後 12「明るく、楽しく、仲良く」をモットーに活動しております。
興味のある方は都和公民館へお越しください。



都和ダンス愛好会



社交ダンスを通してストレスの解消と健康の維持に努めたい。

12 名の会員は J B D F 認定プロ教師の指導のもと、楽しく踊る社交ダンスで快い汗を流し、和気あいあいと活動しております。

活動は、毎週火曜日の夜 6 時 30 分から 9 時です。初心者の方にも対応しておりますので、随時どなたでも入会できます。

気楽に参加されて、ふれあいの輪を広げてみませんか。

社協都和支部

小地域お楽しみ会を開催

ひとり暮らしの高齢者を対象に 7 月 14 日（都和南小地区）・9 月 7 日（都和小地区）の 2 回に分けて小地域お楽しみ会を開催しました。

これらの事業は、皆様からの社会福祉協議会会費などの収入で取り組んでいます。

お楽しみ会では、地域で発生している犯罪の手法などについて新治都和交番の所長からお話をいただきました。



また、公民館で活動している同好会（都和箏クラブとハイピカス）のみなさんによる、お箏の演奏とフラダンスを披露し

編集後記

新型コロナウイルス感染症が、インフルエンザと同じように移行されました。さまざまな制限が解除され、私たちの行動も、以前の活動に戻りつつありますが、まだまだ気づかいの行動が求められています。

文化広報部では、掲載したい記事が多く、活発な編集会議になりました。

「まちの話題、この人、ご存じ」などに続き、都和地区関連のむかし話など、「都和って、いいな。こんなステキな所なんだなあ」を、これからも紹介していけたらと思います。

最後になりましたが、つわの風 42 号の発行に、ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

ていただき、最後に、調理ボランティア「よつわの会」による手作りお弁当をお土産に、楽しいひと時を過ごしました。
民生委員、市民委員会福祉部の皆様にもご協力いただきました。